

バイオスティミュラントの開発

新規農業資材バイオスティミュラントによる健全な植物の育成

【背景・目的】

地球温暖化による気候変動が深刻化しており、高温、乾燥化による生育障害及び品質の低下、病害虫の発生様相の変化や新たな病害の発生が問題になっている。

そこで、植物へのストレスを緩和し、植物が本来備えている能力を引き出すことで、健全な植物を育成するバイオスティミュラントを開発した。

【成果の内容】

1 バイオスティミュラントの開発

微量要素、有機成分、食品添加物など植物の健全な生育を助ける原料を検討



安心安全な成分を用いてカクテルを作製

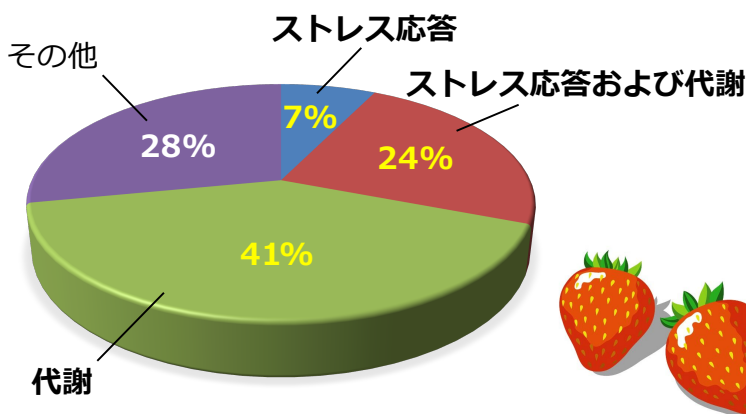


植物の活力を高めて環境ストレスに負けない健全な植物を育成するバイオスティミュラントの完成



ストロングリキッド（通称ストリキ）の商品化
（液体微量要素複合肥料、特許第6634325号、特許第6713117号、特許第7506871号）

2 ストリキ処理したイチゴの遺伝子発現解析



ストリキを散布したイチゴの網羅的な遺伝子発現解析を行った。その結果、ストリキ処理によりストレスに応答する遺伝子の発現上昇が認められた。



“ストリキ”は作物の健全な成長を助ける!



JAグループ KCC 株式会社 株式会社

3 イチゴ挿し苗の活着促進効果

対照区



ストリキ区



1週間おきにストリキを3回散布し、採苗時にストリキにどぶ漬けして挿し苗した。ストリキ処理により根の活着が促進した。

イチゴは“苗半作”といわれるほど育苗は重要な作業であり、本資材は苗の健全な育成を促進した。

4 イチゴ苗への乾燥耐性付与効果



処理無し
(萎れ)

ストリキ処理
(健全)

ストリキを灌注処理したイチゴは乾燥処理して8日後でも健全さを維持していた。

お問い合わせ先

岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所
加賀郡吉備中央町吉川7549-1

TEL. 0866-56-9450